

骨格予算決まる!



新年度一般会計予算

約**393億912万円**骨格予算承認!

前年度比▲約37億円

今後の政策的判断等検討（事業仕分け）に向け、義務的経費・継続的事業を中心に予算を組む『骨格予算』として編成。景気低迷を受けた市税の減収額は約7億円と見込む。

『本格予算』は6月議会で審議

新年度の予算が承認

新市長の初予算編成

平成22年第1回定例会は、3月1日に開会し、補正予算議案7件、新年度予算議案11件、火葬場条例などの条例の制定2件、条例の一部改定6件、副市長及び各委員の選任などの人事案件6件、ほか6件を含む38件の議案が市長より提出された。また、議員より2議案が提出され、それぞれ原案のとおり可決した。

当初予算に盛り込まれた主な事業

27億4618万円

新年度から始まる 子ども手当支給事業

今年6月支給開始に向けて。中学校修了までの子供たちに月額1万3000円を支給。

働くお父さん・お母さんを応援 (仮称)川本保育園建設事業

老朽化した田中・長在家両保育園統合に向けて、平成23年度内に定員120人の施設の完成を目指す。

6691万円
(今年度の事業費として)

火葬施設建設事業費 (深丘園)

平成20年度から始まった深丘園。建てかえ工事が終わり完成。今年6月、深谷市内全域の供用開始に向けて。(総額約20億円)

2億5110万円



スマートIC調査研究事業 700万円 (本年度調査費)

寄居パーキングにスマートIC（インターチェンジ）を設置し、交通・物流の活性化を目指す。



附帯決議

平成22年度一般会計予算に対する附帯決議

- 1 新規施策の導入及び施策の統合・廃止については、施策決定の過程（プロセス）を極力公開するとともに、議会が施策の判定をする上で必要な関係情報の提出や意見提供などに努め、透明性の確保及び説明責任を果たされたい。
- 2 施策の見直し等に当たっては、単に財政上の評価だけでなく、導入に至った経緯、総合振興計画との整合性、旧市町の地域性、合併時の要件等慎重に検討されたい。
- 3 住民福祉の維持向上を図るため、現行の行政サービス水準の低下や市政の後退をさせないことを原則に、施策の選択を行うとともに時代の福祉ニーズに的確に対応されたい。

条例

ペット霊園の設置許可に関する条例が可決!

- 問** 無秩序にペット霊園ができないようにも少し厳しい内容にすべきでは?
- 答** 県下では既に18市町で同様の条例が制定されているが、その中でも厳しい内容になっている。
- 問** 条例に違反した場合は?
- 答** 罰金等はないが、社会的制裁という意味で違反者名を広報・ホームページに公表する。
- 問** 問題が起きないような対策は?
- 答** 事前協議の中でしっかりと指導を行い、問題ないよう規制をかけていく。

平成21年度一般会計補正予算 (第8号)

国からの臨時交付金※ 約5億455万円歳入計上



国会

地方支援

使い道は

- 小学校施設整備 約4231万円
- 中学校施設整備 約1億4400万円
- 本庁舎の改修工事など 約9809万円
- 花園文化会館修理工事など 約1543万円

※今回の臨時交付金は、平成22年1月、国会で可決した国の一般会計第2次補正予算により、各地方へ財政措置されたもの。

〈議会あれこれ「骨格予算ってなあに?」…新規の施策等を見送り、政策的経費(公共事業や社会保障など)を極力抑え、義務的経費(人件費や借入金返済金など)を中心に編成された予算のことです。〉